

主な内容	
一般質問(代表・個人)(要旨) ……	2～5面
予算特別委員会審査概要 ……	5面
委員会の活動状況 ……	6面
予算に対する各会派の意見 ……	7面
議案等の概要と結果 ……	8面

発行/渋谷区議会 〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号 ☎03(3463)1096



渋谷区議会ホームページ
<https://shibukugi.tokyo/>



***** 明治通り沿いの桜

令和6年度各会計予算を可決 総額は1,735億8,225万5千円(前年度比6.9%増) 渋谷区多様性を認め合う社会を推進する条例などを可決

令和6年第1回臨時会は1月24日に開かれ、令和5年度一般会計補正予算1件を可決しました。

令和6年第1回定例会は2月20日から3月21日まで、31日間の会期で開かれました。

2月20日の本会議では、3人の議員が代表として一般質問を行った後、人権擁護委員の候補者3人について支障ない旨を答申しました。

2月21日の本会議では、3人の議員が代表として一般質問を行いました。

2月22日の本会議では、6人の議員が個人として一般質問を行った後、渋谷区手数料条例等の一部を改正する条例1件を可決

しました。

3月4日の中間本会議では、渋谷区多様性を認め合う社会を推進する条例など条例8件、令和5年度一般会計補正予算1件、契約1件、規約の変更1件を可決しました。

3月21日の最終日の本会議では、教育長の任命の同意1件、渋谷区国民健康保険条例の一部を改正する条例など条例10件、令和6年度一般会計及び3特別会計の当初予算4件、特別区道路線の廃止及び認定4件、委員会提出議案1件を可決、議員提出議案8件を否決し、専決処分の報告1件を聴取しました。このほか、請願1件を採択、3件を不採択とし、意見書2件を決定しました。

令和6年度各会計予算額

区分	令和6年度当初予算額	令和5年度当初予算額	増減率
一般会計	1,223億1,900万0千円	1,126億2,800万0千円	8.6%
国民健康保険事業会計	270億4,521万5千円	265億4,998万3千円	1.9%
介護保険事業会計	175億5,053万7千円	164億2,507万2千円	6.9%
後期高齢者医療事業会計	66億6,750万3千円	67億2,294万7千円	△0.8%
計	1,735億8,225万5千円	1,623億2,600万2千円	6.9%

令和6年能登半島地震の被害を受けた石川県に義援金を贈呈

渋谷区議会では1月25日に丸山議長が34人の全議員を代表して石川県東京事務所を訪ね、被災された方へ心からお見舞いを申し上げ、義援金40万円を中谷所長に手渡しました。

次回定例会のお知らせ

- 令和6年第2回定例会は、6月3日から開かれる予定です。
- 本会議は、通常、定例会の初日と2日目、3日目に一般質問、最終日に議案の議決等が行われます。

建設アスベスト対策の拡充を求める意見書

令和3年5月17日、最高裁判所は建設業従事者のアスベスト被害に対して、国の責任と大手アスベスト建材製造企業10社の賠償を認める判決を言い渡した。

同判決等を踏まえ、特定石棉被ばく建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律(略称、建設アスベスト給付金法)が成立、令和4年1月から国の拠出により、建設アスベスト被害者に対する給付金制度が開始された。

しかし、給付金支給対象者は限定されており、アスベスト建材製造企業による補償の在り方も定められていない。

また、大気汚染防止法等のアスベスト関連法改正により、規制が強化された。令和4年4月から一定規模以上の工事は事前調査結果の報告が必須となり、建物所有者である国民の負担が増加する。その負担を避けようと無届、違法工事が横行すれば、国民や建設業従事者の健康被害も心配される。

よって、国におかれては、次の事項について、必要な措置を講じるよう強く求める。

- 1 国は大気汚染防止法による建物解体などにおける飛散防止対策について、地方公共団体に対し必要な財政支援を行うこと。
- 2 国は「住宅・建築物安全ストック形成事業(住宅・建築物アスベスト改修事業)」について、建築物の所有者等に対する調査・除去費用の補助制度を拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年3月21日

渋谷区議会議長名

衆議院議長/参議院議長/内閣総理大臣/財務大臣/厚生労働大臣/経済産業大臣/国土交通大臣/環境大臣 あて

現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書

改正マイナンバー法が令和5年6月2日に成立し、令和6年12月2日には健康保険証を廃止して、マイナンバーカードに保険証機能を持たせる「マイナ保険証」に一本化されることになった。

現行の健康保険被保険者証の廃止は、マイナンバー法上任意とされているマイナンバーカードの取得の事実上の義務化であり、法律上も大きな問題がある。さらにオンライン資格確認等のシステム上でのエラーやトラブルが未だ多く発生しており、保険資格確認の手段として確実なものとはいえず、マイナ保険証の使用率は令和5年12月時点で低下している一方である。

また、マイナンバーカードの利活用に対応しきれない医療機関も一定数あり、閉院という選択肢を取らざるを得ない、という現状が生きている。

わが国の医療保険制度は、いつでもどこでも誰でも、必要な時に日本国内で均しく医療を受けられる「国民皆保険」制度を採っているが、上記のような状況になれば同制度は、機能不全に陥りかねない。また、地域の医療を支える担い手が不足した場合、地域住民の健康に対する安全性を大きく損なう事態になることが懸念されている。

わが国が世界に誇る医療保険制度を将来にわたって維持存続させるため下記要望する。

- 1 令和6年12月2日実施予定の健康保険証廃止に伴い、一定期間はマイナ保険証と現行の保険証の両立を検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年3月21日

渋谷区議会議長名

衆議院議長/参議院議長/内閣総理大臣/総務大臣/厚生労働大臣/デジタル大臣 あて

※議員名右上の二次元コードを読み込むと、各議員の質問の模様を録画映像でご覧いただけます。

一般質問(代表)

持続可能な行財政運営等7点について伺う



自由民主党 一柳 直宏 議員



持続可能な行財政運営

問 ①持続可能な行財政運営をどう推進するか。②事業評価制度構築と結果開示の進捗は。③主要施策の進捗公表を...

区長 ①余剰金を基金へ積み立て、起債とのバランスをとり効果的に活用。②予算編成に反映する仕組みを構築し、重点事業をプレス発表。③ウェブサイトで公表を検討。

防災について

問 ①災害時相互応援協定締結自治体の拡充は。②相互応援協定に基づく災害時被災支援体制の整備は。③避難所運営へのDX推進の進捗は。④コンタクトセンターで災害時問合せの引受けを。⑤在宅避難の推奨と周知啓発は。

区長 ①遠隔地等自治体との協定を前向きに進める。②本区職員の分掌事務精査、応援自治体職員の役割明確化を図る。③QRコードで避難所受付を可能とする防災システム

まちづくりについて

改修を予定。④頻度の高い問合せに一次回答を行う。⑤様々な機会を捉え周知啓発。

問 ①本町ランドデザインの進捗状況と不燃化促進への意欲は。②区内住宅耐震性向上への考えを。③大山街道整備事業に「歩行者利便増進道路制度」導入検討を。④再開発エリアとなる商工会館利用者の活動場所をどう担保するか。廃止される区道と商工会館借地権の財産価値はどう変換され、区民に還元されるか。

区長 ①地域の理解・協力を得て計画実行、建て替え費用助成制度の周知啓発に力を入れる。②国や都からの補助金を受け、区内全域で助成実施。③地域と連携しながら導入に向け検討。④活動場所の確保検討。再開発ビルに権利床を取得する予定、利用用途は区民還元するよう今後検討。

産業振興について

問 ①DIGSHIBUYA(ディグ・シブヤ)を通して、テクノロジーが文化振興や地域振興に寄与できるケースを作る目的は達成されたか。このイベントの総括と今後の方針は。②これまで採択したスタートアップ企業が本区にどう貢献できるのか。③ミラフローレス区やホルル市との都市間交流の進捗は。④区の経済・産業振興にも結び付く都市間交流とすべきでは。

区長 ①来街者が最新のカルチャーやテクノロジーを体感できる機会創出。多様な人が集まり新たな文化を生み続ける街を目指す。②高齢者福祉分野において複数プロジェクトの実証を検討。③5月以降に



△ふれあい植物センターの外観

ホルル市長を招き姉妹都市協定締結を目指す。6月にミラフローレス区を訪問し、協定締結の準備を進める。④経済や産業振興につながる取組も実現できるよう進めている。

環境政策について

問 リニューアルオープンしたふれあい植物センターの状況、ベネフィットの地元還元今後の展開について伺う。

区長 開園後7か月間で約3万人の方が来園。今後は加計塚小学校区民菜園跡地に、栽培面積の拡大と収穫機能強化等を図る施設の整備を検討。

福祉について

問 ①介護現場の生産性向上推進事業の具体的内容は。②第9期介護保険事業計画で適正な介護保険料設定が必要だが、持続可能な福祉施策の考えは。③介護予防把握事業の目標及び具体的な内容は。

区長 ①「介護サービス事業所ICT機器・介護ロボット等導入実証実験事業」を開始。②負担能力に応じ保険料を設

子育て・教育について

定し、介護保険制度の持続可能性確保。③身長・体重・BMI測定、歩行姿勢測定、栄養・口腔・聴力測定、健康増進プログラム実施。地域包括支援センターと連携、高齢者の会場型見守りの役割も担う。

問 ①学校施設建て替え事業の進捗状況と来年度の計画は。②COCOLOプランで示された取組の進め方は。③「探究的な学び」とは。シブヤ未来科の展開は。④3年間の総括と、区教育の未来へ思いは。

区長 ①今年度、青山キャンパスは実施設計、広尾中と松溝中、神南小は設計を進め、代々木中は基本計画を終え、来年度から2年間で設計を行う。来年度、スポーツセンター仮設校舎は準備工事着手予定、鉢山中と原宿外苑中の基本計画作成業務を開始、鉢山中は猿楽小と、原宿外苑中は千駄谷小との小中一貫教育校として整備を行う予定。

教育長 ①誰一人取り残されない学びの保障に向けた、不登校児童・生徒の支援に更に取り組む。②自ら学ぶ力や創造性を発揮し、学んだ知識をいかして新たな知見を創造するのが探究的な学び。自律した学習者を育てていきたい。④教育の充実と発展に全力で取り組んできた。これからの情熱と責任感を持ち、「未来の学校」づくりを進める。



令和6年度予算案、まちづくり等7点について伺う



シブヤ笑顔 伊藤 毅志 議員



令和6年度予算案について

問 予算配分の考え方は。区長 未来への投資に注力。

問 ①自宅避難勧奨を。②自宅備蓄充実策は。③学校建て替え期間の代替避難所は。④避難所間利用者移動計画を。⑤200キロ圏内自治体と災害時相互応援協定を。⑥ペット避難個別対応マニュアルは。⑦ペット同室避難所を。⑧ハチパト事業数は。⑨迷惑路上飲酒禁止条例制定を。⑩物理



△神泉児童遊園地で行われたペット防災訓練の様子

的に分離した自転車レーンを。①大山街道中心部も歩車共存空間に。②猿楽橋架け替え工事の取組は。③再開発後はみどりを増やすルール作りを。区長 ①居住可能な場合推奨。②SNS等で意識啓発、ハチペイで用品購入可能に。③原則、仮校舎。④想定訓練を実施。⑤⑦⑨⑪検討。⑥31避難所で作成。⑧警察引継ぎ77件救護等28件。⑩駐車車両多い区間で検討。⑫工期短縮の検討や地域への丁寧な説明を行う。⑬「みどりの基本計画」に基づき事業者を要請。

高齢者福祉について

問 ①敬老金贈呈事業見直しは。②見守りロボット貸出を。③シニアクラブ向けハチペイサポート教室は。④医療機関にハチペイ加盟促進を。⑤後期高齢者にスマホ貸与再開を。⑥エイジテック推進は。⑦後期高齢者の窓口申請無償化を。区長 ①対象者を年齢で絞る。②検討。③講習会等開催。④今後も周知。⑤購入のきっかけを提供。⑥関連スタートアップ企業と連携。⑦予定なし。

スポーツのまちづくりについて

問 ①松溝中温水プール撤回の意図は。プールの利用等は。②渋谷区スポーツ協会設立の効果は。③地域スポーツの創造は。④国立代々木競技場の世界遺産登録に賛意の表明を。区長 ①地域配置とコスト等判断。地域開放し防災用水利も検討。②スポーツ推進体制の充実・強化。③総合型地域クラブを目指す。④動向注視。

教育について ①青山キャンパスのスクールバスと自転車通学は。②

小中一貫教育校を義務教育学校に。③シブヤ未来科の成果予測は。④教科担任制拡充を。⑤渋谷図書館跡地に常磐松小連携施設を。⑥区域外も小中一貫教育校選択可に。⑦インクルーシブ教育支援員を。区長 ⑤提案を踏まえ検討。教育長 ①広尾中はバス運行検討。自転車は許可の方向。②変更なし。③学び続ける意欲醸成。④広尾小、西原小導入。⑥検討。⑦制度活用検討。

多様性社会の推進について

問 ①「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」改正の思いは。②「渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例」の「差別」がネガティブでは。区長 ①「ちがいをちがいに認める街。」継承に努力し続ける。②願いを反映した表現。

選挙について

問 ①パースデール事業の内容は。②SNSで若年層啓発を。③開票時間短縮策を。選管委員長 ①18歳時お知らせ送付。②検討。③事例研究。

用語解説 ※エイジテック 高齢者が生活する上で直面する困りごとを解決・サポートしてくれるテクノロジー。

用語解説 ※義務教育学校 小中一貫教育校と異なり、小学校・中学校の区切りがなく柔軟に学年制を変更できる。



令和6年度予算、区政運営等6点について伺う



立憲・国民
小田 浩美 議員



する対応を見直し、倫理観ある行政運営を。④はたちのつどの国会議員出席の理由は。⑤区長 ①開示の在り方を検討。設置の考えはない。②準備委員会が計画案を作成。説明会等を実施。③疎外する意識なく改めるつもりはない。④事前に申入れあり区が判断。

子育て・教育について

①自ら命を絶つ児童生徒を守る最優先課題は。公私立問わず対策を。トラウマへの対策を。②教育現場も公費會計へ。集金にDX活用を。③学用品購入のシステム導入を。④宮下公園施設利用を無料に。⑤渋谷臨海公園の子供利用は。⑥区長 ②必要な検討を進める。一部デジタル通貨で利用可能。④無料の考えはない。⑤子供たちの主体的参加に配慮。

①相談しやすい環境を整える。教育センターで対応。中長期的に講じる。③保護者の負担軽減等にDX化を推進。

危機管理対策について

①自主防災組織について、

①渋谷区とは。区民との違いは。②女性への配慮も盛り込むべき。③パートナーシップ証明の対象者は。ファミリーシップ制度の導入を。④区長 ①在住、在勤、在学者のほか区に関わる全ての人。区民も渋谷区民。②現行条例の趣旨を継承。③異性同士も申請可能となる。研究する。

区政運営について

①事務事業評価を行い、公開を。指定管理者管理運営状況評議会の設置を。②学校建て替えに協議体の設置を。再開発事業等は区民と対話を。③区長答弁で一部議員を疎外



宮下公園のポルタリングウォール

町会加入を前提とするルールの見直しを。加入方法の検討を。防災士機構と連携を。現役世代加入率の目標設定を。出張防災訓練を。土日等訓練への職員参加の課題は。②避難所運営に人権保護の基準を。災害時歯科医療支援の指針を。③区長 ①地域特性で決めるもの。防災キャラバン等で支援知識と経験を高める支援に取り組む。必要な調整を行う。求めに応じて支援。課題はない。②地域防災計画の方針が基準。支援の在り方を検討。

福祉事業について

①介護予防講座から事業者になが仕組みを。②施設従事者の内部通報窓口設置を。③特養の転所ルール見直しを。④区長 ①必要な支援につなげている。②体制を整えている。③公平性を担保し、研究。

防災、子育て支援、教育、福祉等9点を伺う



公明党
久永 薫 議員



防災について

①「家族防災会議」の開催について啓発を。②加計塚小のシブヤ科における発表内容の紹介を。③全区民へ携帯トイレ無償配布を。④全避難

所で防災キャラバンを。⑤避難所運営委員会がない地域の訓練を。⑥要配慮のペット対策に専門学校との連携を。⑦学校建て替え時の代替避難所確保・周知を。⑧来年度のグリーゾーン住宅の耐震助成は。⑨区長 ①防災点検の日に各家庭で備蓄品確認等ができるよう必要な備えについて周知。②研究課題。④多くの会場で開催検討。⑤訓練、研修会、講話を行う。⑥相談・助言や一時預かり等の支援。二次避難も検討。⑦仮校舎以外に民間企業施設も検討。地域説明は早期に行う。⑧区内全域で診断・改修助成を実施。

子育て支援について

①保育所等訪問支援事業の進捗は。②来年度法改正に向けた子育て支援センターの機能強化と拡充は。③3歳未満まで対象が拡充された「こにこママ」の現状と課題は。④産後ケア事業の現状は。⑤区長 ①子供をチームで支援する具体的方策を関係者協働で実施。②民設民営のセンタ

①保育所等訪問支援事業の進捗は。②来年度法改正に向けた子育て支援センターの機能強化と拡充は。③3歳未満まで対象が拡充された「こにこママ」の現状と課題は。④産後ケア事業の現状は。⑤区長 ①子供をチームで支援する具体的方策を関係者協働で実施。②民設民営のセンタ

ーとの連携で、より相談しやすい支援機能を拡充。③申請者が著しく増加。今後の子育て環境の変化を見据え、更に利便性が高いサービスとなるよう改善。④月末登録者数638名、契約機関7施設。妊娠届提出時や面接時、産後の全戸訪問時に事業を周知。

教育について

①地域共生サポートセンター・結しぶやの重層的支援のケースは。②来年度の補聴器助成は。③認知症基本法制定を受け来年度以降の取組は。④デジタルデバイス解消事業で防災アプリ講習会の再開や各キャリア安否確認機能の使い方講習会を。⑤シブヤでシニアクラブ活動サポートを。⑥区長 ①ワンストップ相談体制が入口となったことで迅速な対応につながった事例あり。②対象を広げ、助成上限額を増額。③「渋谷区認知症施策推進基本計画」の策定、認知症専用サイトの開設、見守りサービス強化等。④全てのスマートフォン講座のテキストに防災コンテンツを追加。今後は安否確認機能の紹介追加も検討。⑤「出張スマホ講座」の開催によりサポートする。

福祉について

①HPVワクチンの男性接種助成は。②医療用ウィッグ・人工乳房助成は。③高齢者肺炎球菌ワクチン未接種対象者の最終案内は。④乳がん予防啓発にピンクリボンアドバイザー派遣を。⑤緑内障自己チェック診断表の再配布を。⑥区長 ①小学6年生から高校1年生の年齢を対象に接種費用全額補助。②購入・レンタル費用を1点当たり上限10万円まで助成。③期間内接種を区ニュースや区ウェブサイトで周知。④くみんの広場での啓発を検討。⑤検討。

①HPVワクチンの男性接種助成は。②医療用ウィッグ・人工乳房助成は。③高齢者肺炎球菌ワクチン未接種対象者の最終案内は。④乳がん予防啓発にピンクリボンアドバイザー派遣を。⑤緑内障自己チェック診断表の再配布を。⑥区長 ①小学6年生から高校1年生の年齢を対象に接種費用全額補助。②購入・レンタル費用を1点当たり上限10万円まで助成。③期間内接種を区ニュースや区ウェブサイトで周知。④くみんの広場での啓発を検討。⑤検討。

項目	品名	備考
食事関係	★水	1人1日3ℓ×7日分
	★食料	3日～7日分
	皿・コップ	洗う必要がないもの
	スプーン・箸	洗う必要がないもの
衛生用品	カセットコンロ	
	★簡易トイレ	1人1日5回×7日分
	★洗口液	口内殺菌に有効
	歯ブラシ	
	トイレトーパー	30日以上
	マスク	30日以上
	体温計	
アルコールティッシュ		
衣類	冬を基準に準備(防寒)	

渋谷区個人備蓄チェックリスト(一部)

物価高騰対策について

①ハチペイ活用のプレミアム付デジタル商品券販売の第3弾等の支援策を。

②給付金申請にオンライン導入を。③区長 ①様々なキャンペーン実施予算を計上。②検討する。

安全・安心について

「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の改正について

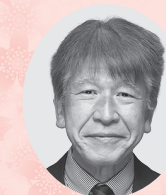
①多様性尊重と規範向上の考えは。②教育委員会と連携し人権教育の更なる推進を。③啓発用パンフレットを。④区長 ①条例で基本理念と区などの責務を既定し、区が推進する施策を示した。②教職員への啓発研修や学校等関係

健康について

①住宅倒壊による死者ゼロを目指す。木造住宅やマンションの耐震補強工事助成上限の大幅引上げを。②避難所運営基準をスフィア基準に引き上げ、インスタントハウス、段ボールベッド、在宅避難者用食料等備蓄を増やし、在宅避難支援チームの配置を。③区長 ①現時点で考えはない。②より良い環境整備を検討。

①住宅倒壊による死者ゼロを目指す。木造住宅やマンションの耐震補強工事助成上限の大幅引上げを。②避難所運営基準をスフィア基準に引き上げ、インスタントハウス、段ボールベッド、在宅避難者用食料等備蓄を増やし、在宅避難支援チームの配置を。③区長 ①現時点で考えはない。②より良い環境整備を検討。

いのち、暮らし、営業最優先に、福祉切り捨て、負担増やめよ



日本共産党
田中 正也 議員



機関の協力も得て、人権教育を推進するプロジェクトを検討。③伝わりやすい工夫をした啓発用小冊子作成を検討。

能登半島地震と区防災対策

①来年度予算はいのちと暮らし、営業を守ることを最優先に税金の使い方は転換を。②区民に寄り添う独自の物価高騰対策を。③会計年度任用職員最低賃金の大幅引上げを。④敬老祝い金削減はやめよ。⑤国保料引上げを中止し、子どもの均等割は無料に。⑥区長 ①しっかり守る予算と

2024年度渋谷区予算案

①来年度予算はいのちと暮らし、営業を守ることを最優先に税金の使い方は転換を。②区民に寄り添う独自の物価高騰対策を。③会計年度任用職員最低賃金の大幅引上げを。④敬老祝い金削減はやめよ。⑤国保料引上げを中止し、子どもの均等割は無料に。⑥区長 ①しっかり守る予算と

＜2024年度渋谷区予算案より田中正也議員が試算

STOP! 福祉切り捨て・負担増

- 敬老祝い金の対象者・62%削減
約1万5千人分削減
- 国民健康保険料・11.7%値上げ
1人平均・年間1万7,311円増
- 介護保険料・3.5%値上げ
1人平均・年間2,520円増

そのうえ、後期高齢者医療保険料も値上げに

③適正に決定。④丁寧に周知。

まなびのこころ

問 ①玉川上水旧水路緑道樹木は適切保存を。②公園PFIは撤回を。③計画は白紙に。④宇田川町地区まちづくり計画は区道提供や神南小学校の容積率移転を中止し、学校は区が整備を。⑤幡ヶ谷2丁目オリンパス跡地再開発は、事業者に住民説明会開催を求め7号通り公園提供はやめよ。

区長 ①きめ細やかに対応。②適切に判断。③考えはない。④予定どおり進める。⑤事業者が説明と認識。提供しない。

教育について

問 ①国や都に30人学級化、教員の大幅増員を求めよ。②スポーツセンター仮設校舎に専用グラウンドを。③今後整備する全ての学校にプールの整備を。④学校統廃合は撤回し、各校整備は子どもと保護者、学校関係者、地域住民の声を広く聞くべき。⑤学校給食無償化は私立、国立、不登校児まで拡大し、区立と同等支給を。⑥奨学金貸付制度は廃止せず、大学生も対象に。

区長 ②③考えはない。④意見を丁寧に聞きながら進める。⑤⑥現時点で考えはない。

教育長 ①全国都市教育長協議会などを通じ要望している。

子育て支援について

問 ①全ての保育園で新しい保育士配置基準のための支援を。2歳児以上の面積基準の引上げを。②区として保育施設で働く職員処遇改善を。

区長 ①適切に対応。考えはない。②考えはない。

区政一般、子どもと教育、防災について伺う

維新の会
星野 愛 議員

区政一般について

問 ①大山街道整備事業で、車いすなどへの更なる配慮は。宮益坂の路上駐車対策は。②ニューズレターの発行計画は。社会実験が始まる道玄坂の宮益坂との相違点、路上駐車対策は。③今年のはろウイーン期間の対策は。④空き家について区の相談を受けられることを印象付ける方法は。相談会や講座について区民の反響は。空家問題に関心の無い方も話を聞ける機会を設ける考えは。④空き店舗を借り上げ、



＜まもなく芽吹き季節を迎える宮益坂(大山街道)

生徒の作品展や起業体験などの場として活用しては。

区長 ①歩道の平坦性を十分に確保。地域荷さばき施設と路上荷さばきスペースへの誘導等により対策を推進。事業の進捗に合わせ、地域配布と区ウェブサイトに掲載により発信。道玄坂は飲食店等の荷さばき車両の多いことが特徴、地域と連携し対策を検討。②人流動向や路上飲酒状況を分析し、関係機関と協議。③空家等対策計画に基づき、広報や相談会などの啓発活動に取り組んでいる。講座では活発な意見交換を行っている。誰もが空家問題に触れられるきっかけ作りを積極的に行う。

子どもと教育について

問 ①幼稚園で英語に触れる機会増を。外国語の絵本を置いては。②ALTの採用条件に英語教授法の有資格者を加えては。③パラスポーツの交流や観戦の前後に考察の時間は。教材「アイムポッシブル」の使用例は。ダイアログ・イン・サイレンスを課外授業として採用を。④日本版DBSの運用で現教職員や採用への影響は。義務化から漏れる施設も対象にする制度の設置を。

問 ①学校建設工事中の災害時の避難所は。防災用品の配置場所は地元の範囲内に。②「未来の学校」では災害時を想定したトイレを。公園トイレは改修時に高耐震に。③ドローンを物資運搬等にも活用を。操縦技能取得職員の範囲拡大を。④管理の井戸の数と管理状況は。防災倉庫に井戸水浄化装置の備蓄を。⑤個人備蓄チェックリストに笛の追加を。⑥マンションの防災対策にセミナーなど啓発への協力は可能か。防災キャラバンに参加を促す周知の工夫を。

区長 ①原則、仮校舎が避難所となるが、困難な方には代

替避難所を検討。防災用品も場所の確保に努める。②災害時に利用できるよう設計。耐震性のあるトイレを整備。③震災直後の情報収集に活用予定、物資運搬は今後検討。技能取得職員は今後決定。④15基を備えているが飲料に適さず、生活用水等としての活用を想定。井戸水浄化装置整備の考えはない。⑤備蓄品については、きめ細かな個人備蓄が図られるよう周知を行う。⑥現在も要請があれば実施。マンション防災マニュアル配布など、広く啓発に取り組み

用語解説 ※DBS=性犯罪をした者が子どもに関わる仕事に就くことを禁止する制度。

一般質問(個人)

介護・医療の改善中止と障がい者福祉の改善を求める

日本共産党
五十嵐 千代子 議員

高齢者、障がい者福祉について

問 ①国に対し医療・介護の負担増や年金引下げの中止とヘルパーの報酬の引上げを求

めよ。②介護職員の処遇改善を。③低所得者の介護保険料値上げはやめよ。④待機者が328人もいる特養ホームの増設を進めよ。⑤特別支援学校の卒業生が通所できる生活実習所増設と職員処遇改善を。

区長 ①国施策の中止や国負担の引上げを求める考えはない。②区独自の上乗せはない。③低所得者の影響を最小限に増設を進める。④着実に増設を進める。⑤増設は検討していないが、卒業後の通所先の確保に努める。国への要望や区独自助成の考えはない。

トイレ、区の情報発信、住宅政策について伺う

須田 賢 議員

コミュニケーション

問 渋谷区トイレ環境整備基本方針に、女性用トイレの設置を明文化するべき。

区長 ダイバーシティ&インクルージョン社会を実現するため、トイレ環境整備の基本的な考え方を示したもので、明文化をする予定はない。

区の情報発信について

問 ①審議会等の会議について一つのページにスケジュー

ルを公開し、議事要旨についても原則公表するべき。②一律に開示しろとは一言も言っていない。できるはずのものが少ないのでそれを増やすべきという話だ。③区長の記者会見の回数を増やし、動画配信を実施すべき。

区長 ①一律に公開や公表する考えはない。②引き続き必要に応じて対応していく。③記者会見回数の単なる増加や動画配信導入は考えていない。

住宅政策について

問 物流網を守り、再配達を少なくするために宅配ボックス設置を推進するべき。

区長 引き続き検討する。

防災、子育て支援について伺う

シブヤ笑顔
橋本 侑樹 議員

防災について

問 ①液体ミルクを備蓄用品に。②新生児等に必要の備蓄啓発を。③要配慮の当事者を知る機会を。④避難所で要配慮の方のサインがわかる工夫を。⑤災害時の来街者対応は。

区長 ①④検討。②ネウボラで防災講座開催。③障がいのある方とご家族に防災キャラ

*質問・答弁は要旨を掲載しています。詳しい内容は、区議会ホームページまたは会議録(5月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は区政資料コーナー、区立図書館でご覧になれます。

パン参加を呼び掛け交流。⑤街の変化に合わせて計画を更新。

子育て支援について

①妊娠初期のサポートの充実を。②プレネイタルビジュットの導入を。③産前から保育情報のわかりやすい案内を。

①区サイト等の掲載を工夫。②今後の課題。③保活リーフレット配布等情報発信。

玉川上水旧水路緑道、敬老金贈呈事業等4点について伺う



立憲・国民 佐々木 由樹 議員



玉川上水旧水路緑道について

①園路幅は現状維持を。車止めの間隔は90cm以上に。②民間活力導入の候補地は。区による維持管理の検討は。③再整備予算の内訳は。

敬老金贈呈事業について

①ニーズの把握は。②見守り強化に伴う予算総額は。

③ハチペイICカード作成を。④地域団体等から意見あり回答不能。⑤考えはない。

客引き行為等の防止に関する条例

啓発地区の拡大や区内全域を対象とする改正の考えは。効果的対策を研究する。

部活動改革について

啓発ユニテッドのガイドラインの普及を。保護者とコーチの意見交換の場を。

区政運営と区民生活、教育、健康などの区政課題について



鈴木 建邦 議員



区政課題について

①玉川上水旧水路緑道再整備は利用者本位で。②「フューチャーセッション」等わかりづらい用語は住民参加の障壁。③羽田新ルートの見直しを。④技術職を中心に人材確保難。職員待遇改善策を検討せよ。⑤教員はこどもの手本。教員表彰に挑戦や学びの部門を。⑥シブヤ未来科に期待するが移行は緩やかに。⑦鼓笛パレードの機会確保を。⑧H

帯数は上昇しており、本条例は少子化に関係していると感ずる。子供は国の宝と言うが、区長は渋谷区にとって子供は宝ではないとの考えか。②パートナーシップ証明の最も多い取得理由は「有事の際にパートナーとの関係を証明できるものが欲しいから」とあるが、証明により相続は可能か。実際に遺産取得の事例がある。外国人の方も相続の可能性がある。土地や財産に及べば国益を脅かす懸念があり、厳格なルール、規約を設けるべき。

PVワクチン男性接種の啓発を。⑨RSVワクチン助成を。⑩利用者にあえられる緑道再整備に取り組む。⑪誰も理解できるような用語の使用に努める。⑫国に情報の開示や安全対策の強化を求め。⑬改善策は研究課題。⑭教育委員会とともに検討。⑮情報提供を区ウェブサイト等で啓発する。⑯今後検討を進める。⑰職務以外に表彰の範囲を広げる考えはない。⑱来年度から本格的に始めるシブヤ未来科の探究は、変革を推進する基盤があつてこそその展開。各学校の計画を尊重しながら必要な支援を行う。

用語解説 ※RSVワクチン＝呼吸器合胞体ウイルス(RSV)によって引き起こされる感染症に対するワクチンのこと。

渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例について伺う



矢野 桂太 議員



議案第8号 渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例について

①渋谷区では2015年のパートナーシップ証明施行から出生数が減少、一方で世

予算特別委員会審査概要

令和6年度各会計予算4件は、2月22日に設置した予算特別委員会(全議員34人で構成、委員長・斎藤竜一議員、副委員長・桑水流弓紀子議員)に付託し、4つの分科会に分かれ審査しました。一般会計予算及び国民健康保険事業会計予算は、修正案が提出されましたが、採決の結果、修正案を否決し、4件とも原案のとおり可決することに多数をもって決定しました。予算特別委員会の各分科会での主な指摘事項は次のとおりです。

総務分科会

▼避難所運営については、学校建て替え期間中の運用に支障が生じないよう、各校の避難所運営委員会と連携を密にして、丁寧に取り組まれない。▼庁舎管理については、低層階エレベーター利用へ誘導する案内の拡充、自転車駐輪場の改善、車寄せの設置等を行い、来庁者の利便性と快適性の更なる向上に努められたい。▼アイリスは、人権問題の一次窓口として各所管と連携し、ジェンダー平等や多様性、DV等に関する専門部署として機能を拡充されたい。▼契約事務については、入札不調や工事の停滞等を発生させないため、予定価格に人件費や資材の高騰が適切に反映され、契約内容が円滑に完了されるよう、事業・財務の関係各所管との確認・調整作業を尽くされたい。

文教分科会

▼スポーツ協会の設立によって幼児期からの生涯スポーツ体制を整えることが可能となるため、確実に進められたい。▼デジタル活用支援員の処遇改善等に努め、防災・防犯の内容を充実させ、情報弱者を無くす取組を強化されたい。▼富ヶ谷・上原地区設置の子育て支援センターは、区内初の民設民営での運営を予定していることから、事業者や設置場所等について適正であるかを十分に見極め、早急に設立されるよう努められたい。▼令和6年度から拡充されるシブヤ未来科については、企業連携ポータルサイトの構築

福祉保健分科会

▼浴場設備更新等助成については、燃料費高騰など運営状況が厳しいため、今後も浴場組合と話し合いを重ねて、的確な助成をされたい。▼ボランティアセンターについては、活動団体への支援や活用により、事業の拡充に努められたい。また、企業等の退職者へボランティアセンターの活動状況を情報提供して登録者の増につなげられたい。▼敬老金贈呈については、高齢者見守り事業の確実な執行とともに、渋谷区の高齢者福祉が前進していくよう、万全を尽くされたい。▼介護サービス事業所支援事業については、ICT機器・介護ロボット導入実証実験の効果を検証して、介護事業所や介護職員の負担軽減を実現されたい。

お知らせ

●議員の住所変更 伊藤 毅志 議員 (令和6年3月26日) 新住所 東1-2-24-408

Table with 2 columns: Information type and Request count. Includes '議会情報公開・個人情報保護実施状況'.

委員会の活動状況

令和5年12月13日〜令和6年3月21日

常任委員会

総務委員会

▼スマートシティ推進事業について報告を受けました。データやデジタル技術を活用し、様々な変化に即応できる政策の立案・推進を目的とする事業で、庁内外のデータを公開・活用し、産官学民連携で地域課題の解決やサービスの創出を図る活動を推進しています。区民が分かりやすい広報を行うよう要望しました。

区民環境委員会

▼落書き対策プロジェクトについて報告を受けました。AIを使った分析を行うなど画期的な取組である、落書きは犯罪であることを広く周知し、落書き防止対策を強化するよう求めました。

福祉保健委員会

▼敬老金贈呈事業の見直しについて報告を受けました。敬老金贈呈については、祝金の贈呈継続を評価し、対象年齢や贈呈金額の変更などの丁寧な周知を要請しました。高齢者の見守り施策については、対象者のほか御家族へも案内をして、見守り協定の締結先

特別委員会

▼児童養護施設広尾フレンズを視察しました。視察時点で未就学児から高校生まで46人の子どもたちが暮らしています。大学進学希望者のための奨学金制度を創設したり、就職によって施設から自立した後も、悩みを抱える若者たちからの相談に乗っていることなど、養護施設としての現状や課題について伺いました。

交通・公有地問題特別委員会

▼東京大学大学院工学系研究科教授 西成活裕氏をお招きして「群集マネジメントについて」をテーマに研究会を実施しました。駅やイベント、初詣など多くの人が集まる場所、人々の行動を分析・計測・予測して事故を起こさないために人の流れをスムーズにする対策等についてお話を伺いました。ハロウィーンなど渋谷駅周辺で実施した動線分離の安全対策等や、事故に巻き込まれそうになった時に身を守る方法、車の渋滞問題など様々な観点から質疑を行いました。

多様性社会推進特別委員会

▼国立歴史民俗博物館名誉教授の横山百合子氏を講師に迎え、「歴史のなかのジェンダー―日本の性差史―」をテーマに研究会を開催しました。博物館の所蔵品等の解説とともに、日本における性のジェンダーの歴史について講義を受け、多様性社会の推進には様々な視点を持つことが重要であると確認しました。

官民連携事業調査特別委員会

▼不登校児童・生徒等の仮想空間上の居場所や学びの場として、本区でも昨秋に開始したVLP*について、構築元の大日本印刷(株)と一般社団法人プレプラ代表理事である水瀬ゆず氏との懇談会を開催しました。教育現場におけるメタバースの可能性を探り、効果検証後は、積極的にカスタマイズに取り組む必要があることを確認しました。



△千駄ヶ谷区民複合施設視察

▼千駄ヶ谷区民複合施設の視察を行いました。新年度にコミュニティセンター、認定こ

文教委員会

▼ラーニングコモンズを中心とした教室配置となる広尾・松濤中学校の建て替え基本計画の概要について報告がありました。プール設置の在り方に関しては避難所運営にも影響するため、近隣住民に理解を得られるよう丁寧に説明す

自治権確立特別委員会

▼児童養護施設広尾フレンズを視察しました。視察時点で未就学児から高校生まで46人の子どもたちが暮らしています。大学進学希望者のための奨学金制度を創設したり、就職によって施設から自立した後も、悩みを抱える若者たちからの相談に乗っていることなど、養護施設としての現状や課題について伺いました。

多様性社会推進特別委員会

▼国立歴史民俗博物館名誉教授の横山百合子氏を講師に迎え、「歴史のなかのジェンダー―日本の性差史―」をテーマに研究会を開催しました。博物館の所蔵品等の解説とともに、日本における性のジェンダーの歴史について講義を受け、多様性社会の推進には様々な視点を持つことが重要であると確認しました。

官民連携事業調査特別委員会

▼不登校児童・生徒等の仮想空間上の居場所や学びの場として、本区でも昨秋に開始したVLP*について、構築元の大日本印刷(株)と一般社団法人プレプラ代表理事である水瀬ゆず氏との懇談会を開催しました。教育現場におけるメタバースの可能性を探り、効果検証後は、積極的にカスタマイズに取り組む必要があることを確認しました。

▼防炎・減災の普及啓発のため本区とS・S・A・P協定を締結しているこくみん共済COOPと、もしもフェスや防災キャラバンにおける官民連携の実績や課題について懇談会を開催しました。能登半島地震を受け防災意識が高まる今後は地域防災の担い手となる若い世代の参加促進や区民の一層の防災意識向上に向けた取組を要望しました。

※VLP：バーチャル・ラーニング・プラットフォームの略称



△小学校PTA連合会との懇談会



△プライドハウス東京レガシー視察

マイノリティに関する情報発信や利用者への対応などについて説明を受けました。

予算に対する各会派の意見

構成人数が3人以上の会派

賛成 渋谷区議会自由民主党議員団

喫緊の区政課題への対応と中長期的な区民サービスの提供を見据えた堅実な予算を評価

新年度予算について、能登半島地震を契機に一層取り組むべき防災対策や物価高騰対策として行うデジタル地域通貨(ハチペイ)による家計支援・区内事業者支援など喫緊の区政課題への対応とともに、区有施設整備や学校建て替えを実施する未来の学校プロジェクトなど中長期的視点を持った未来への投資も積極的に実施する予算を評価します。

教育では、公立小中学校の給食費を全額補助し単価も上げて、学校給食をグレードアップさせるとともに、総合的な学習の時間「シブヤ未来科」を拡充し、子どもたちの主体的な学び、思考力や表現力の向上を図ります。健康では、男性のHPVワクチン接種助成、がん治療に伴う医療用ウィッグや胸部補整具等の購入・レンタル費用の助成を開始します。福祉では、第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険計画が策定され、高齢者の見守りやフレイル予防の強化、また渋谷区障がい福祉推進計画の策定と神宮前3丁目障がい者施設のオープンが予定されています。スポーツでは、渋谷ユナイテッドと渋谷区体育協会を統合し、渋谷区スポーツ協会として官民連携での新たな一歩を踏み出します。

渋谷区議会自由民主党議員団は、今後も区民が安全で安心して快適に過ごせる渋谷の創造のために全力で取り組むこととお誓いし、令和6年度予算の認定に賛成いたします。

賛成 シブヤを笑顔にする会

子育て・教育・福祉の充実と安全安心のまちづくりを推進し、未来への投資を図る予算編成を評価

令和6年度予算編成は、区民に寄り添った教育・福祉の充実、地域コミュニティの活性化や安全安心のまちづくりを推進し、中長期的な視点による未来への投資を図る点を評価します。

子育て分野では、家庭保育への支援や産前産後ケアが充実。ひとり親の養育費確保の支援も始まります。教育分野では、学校給食の全額補助と共に質の向上が図られる他、探究学習シブヤ未来科が拡充され、新しい不登校支援の取り組みも始まり、未来の学びが進みます。福祉分野では、高性能センサー等の最新機器を活用した高齢者見守りや24時間365日対応の障がい者緊急相談事業がスタート。必要な支援を行う体制が整います。スポーツ分野では、区内では東京体育館を会場として来年開催のデフリンピックの気運醸成事業を実施。健康分野では、自殺対策やがん患者支援・がん予防を拡充。安全対策では、迷惑路上飲酒パトロールを強化。防災では、避難所運営のDX化による機動的な災害対応が実現します。魅力的な空間整備では、玉川上水旧水路緑道の再整備、広尾公園・笹塚9号通り公園・西原一丁目公園のリニューアルが進みます。産業振興では、デジタル地域通貨ハチペイのプレミアムキャンペーンにより、区民生活と地域経済を支援します。

シブヤを笑顔にする会は、これからも誰もが笑顔で暮らせる渋谷区を実現するための政策提案に取り組んでまいります。

反対 日本共産党渋谷区議会議員団

物価高騰の独自予算に乏しく、国保料、介護保険料値上げと敬老祝い金削減、奨学金廃止の予算に反対

2024年度予算は、物価高騰や巨大地震対策など、区民のいのち、暮らしと営業を守ることが求められました。

ところが区の物価高騰対策は、困っている区民全体には届かないハチペイだけです。さらに国保料、介護保険料、後期高齢者医療保険料のトリプル値上げ、敬老祝い金の対象者を62%削減、奨学金貸付制度の廃止など、福祉、教育を切り捨てています。

その一方で渋谷駅再開発に6億4千万円、海外スタートアップ企業の招致に3億5千万円などの大企業奉仕の多額の税金を投入します。また、玉川上水旧水路緑道整備に14億5千万円を投入して工事に着手、教育環境を悪化させる学校再整備や統廃合を住民の声を聞かずトップダウンで進めようとしています。

住民の運動と区議団の提案で学校給食の無償化と高齢者の補聴器助成の拡充などが実現しました。

日本共産党区議団は、27年連続で予算修正案や条例改正案を提案しました。内容は、不要不急の事業の見直しや税金の無駄を削り、1520億円の基金を活用して、低所得者や中小事業者支援、若者・子育て世帯への家賃補助など区独自の物価高騰対策の実施、少人数学級、給付制奨学金の実現、保育や介護の充実などです。

今後も、税金の使い方を、いのち、暮らし、福祉、教育最優先に転換するため全力をあげます。

反対 立憲・国民渋谷議員団

公園整備や校舎建て替えなど、計画ありきの事業が散見 区民不在の事業や無駄な支出の見直しを強く求める

前年度に続き、多様な区民の声が反映された編成になっておらず、税金の使い道として不適切な事業が散見されます。

災害時の帰宅困難者対策であるシブヤ・アロープロジェクトは、壁面の矢印アートが避難場所への誘導サインとして全く認知されていません。過去4年の成果が見られず撤退を求めました。

玉川上水旧水路緑道再整備に14億5千万円が計上。ベンチ15基の費用6,240万円など妥当性に乏しく、仮設ファームの検証も不十分。区民の声を反映した計画の見直しを訴えました。

シブヤスタートアップ株式会社への追加出資や、渋谷駅周辺再開発への負担金は最終的な計画が示されず、今後も億単位の支出増の恐れがあると判明。見直しを求めています。

学校建て替えでは広尾中・松濤中の実施計画が一方的だと住民から声が挙がっています。維持管理コストも含めた議論を尽くすべきです。教育政策の「シブヤ未来科」は保護者への説明や学校の準備段階に問題があり、導入が拙速だと指摘しました。

高齢者見守りサービスではICT端末を用いた実証事業が始まりますが、体調変化の際にはご家族以外でも駆け付けられる補完体制の整備に早急に予算を講じるべきです。

立憲・国民渋谷議員団は、事業の適正化と透明性確保を求め、区民の生活を最優先にする区政の実現に邁進いたします。

賛成 渋谷区議会公明党

未来を見据え、更なる区民福祉の向上を進める 予算編成を高く評価

令和6年度予算編成では、引き続き物価高騰に対する切れ目のない対策を講じ、区民サービスを低下させることなく、更なる向上が図られています。また能登半島地震を教訓に防災対策を拡充し、区民のいのちと生活を守り支える政策を進めます。

教育・子育てについては区立小中学校および特別支援学校へ通う児童・生徒の給食費無償化が始まります。また子育てネウボラでは特別な支援が必要な児童への相談支援を拡充し、切れ目のないサポートが強化されます。保健・医療については我が会派が提案してきた男性(小学校6年生~高校1年生)へのHPVワクチン接種費用の全額補助、がん患者のアピアランス(外見)ケア支援のウィッグ購入等費用助成が実現。今後も区民の健康を守る政策を拡充して参ります。福祉については共生社会の実現に向け、高齢者の見守りや認知症支援事業の推進。また私ども公明党の粘り強い提案で補聴器助成の見直しが実現し、対象と助成額を拡充しました。そして産業振興については長引く物価高騰から区民と中小事業者や区内店舗への支援策として、今年度もハチペイを活用したデジタル商品券の販売や多様なキャンペーンを実施。誰もが活用できる事業になるよう、寄り添う支援をして参ります。

渋谷区議会公明党は、今後も一層の区民福祉向上に全力で取り組むこととお誓いし、予算に賛成致します。

賛成 日本維新の会渋谷区議団

中長期を見据えたまちづくり、次世代への投資 そして福祉サービス、安心安全へ向けた施策を評価

令和6年度当初予算は過去最高額となり、まちづくりのための環境整備、福祉の充実、そして次世代への投資等共生社会をより進めるための施策が編成されています。

まちづくりでは水道道路の整備で周辺エリアの活性化を目指します。玉川上水旧水路緑道、大山街道も整備事業が推進されます。GISへの情報追加により、専門的な情報のみならず、区民にとってより利便性が上がることが期待されています。福祉では、男性へのHPVワクチン接種費用助成が始まります。対象者の年齢は13歳~16歳であり、子宮頸がんへの理解度が懸念されますので注視していく必要があります。障がい者支援としては見た目では分かりにくい高次脳機能障がいへの配慮も含め、障がい者、子ども、高齢者等支援を必要とする方へ行き届けなければなりません。敬老金贈呈も持続可能な形へと変わります。未来の学校プロジェクトでは防災に関わる課題として、学校建て替え中の避難所運用が問題なくされるかが問われています。教育分野では探究学習の本格スタート、不登校支援の強化、外国語教育の充実、学校用タブレットでの電子書籍等様々な施策が組まれています。

日本維新の会渋谷区議団は、今年度も区民の皆さまが安心安全に暮らすことのできる渋谷区をつくっていくために力を尽くしてまいります。令和6年度予算に賛成いたします。

令和6年 第1回臨時会 / 議案等の概要と結果		自由民主党	立憲・国民	シブヤ笑顔	公明党	日本共産党	維新の会	その他(議席番号順)				結果			
件名		概要											○賛成 ×反対		
令和5年度渋谷区一般会計補正予算(第8号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

◆議員提出議案 ◇委員会提出議案

令和6年 第1回定例会 / 議案等の概要と結果		自由民主党	立憲・国民	シブヤ笑顔	公明党	日本共産党	維新の会	その他(議席番号順)				結果			
件名		概要											○賛成 ×反対 △欠席		
渋谷区教育委員会教育長の任命の同意について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
人権擁護委員の候補者について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	支障ない 旨答申
人権擁護委員の候補者について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	支障ない 旨答申
人権擁護委員の候補者について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	支障ない 旨答申
渋谷区多様性を認め合う社会を推進する条例(制定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区組織条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例		○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区手数料条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷男女平等・ダイバーシティセンター条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例(全部改正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区国民健康保険条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
渋谷区郷土博物館・文学館条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区シニア・いきいきコミュニティ条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区介護保険条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区介護保険高額介護サービス費等資金貸付基金条例を廃止する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区障害者福祉施設条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区子ども発達相談センター条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区旅館業法施行条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区奨学資金に関する条例を廃止する条例		○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区監査委員条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度渋谷区一般会計補正予算(第9号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度渋谷区一般会計予算		○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度渋谷区国民健康保険事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度渋谷区介護保険事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度渋谷区後期高齢者医療事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
物品購入契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別区道路線の廃止について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別区道路線の廃止について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別区道路線の廃止について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別区道路線の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
◆渋谷区長等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例		×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
◆渋谷区公契約条例の一部を改正する条例		×	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	否決
◆渋谷区立河津さくらの里しぶや条例を廃止する条例		×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
◆渋谷区特別区税条例の一部を改正する条例		×	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	否決
◆渋谷区地球温暖化防止条例(制定)		×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	否決
◆渋谷区高齢者の医療費の助成に関する条例(制定)		×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
◆渋谷区奨学資金に関する条例の一部を改正する条例		×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	否決
◆渋谷区子ども条例(制定)		×	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	否決
◇渋谷区議会委員会条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
未就学児のいじめや人権に関する請願		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
安心・安全な保育の実現を求める請願		×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	不採択
敬老祝い金給付の現行水準での継続を求める請願		×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択
介護保険料の引き上げをしないことを求める請願		×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択
建設アスベスト対策の拡充を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	決定
現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	決定
専決処分の報告について		西参道プロジェクトに伴う道路改良工事(その5)請負契約の一部変更(契約金額の増額及び工期の延長)に伴う専決処分(金額 7,338,100円の増額)(工期 令和6年3月29日)													

編集後記 今回は、令和6年第1回定例会の内容をお知らせしました。今後も親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。皆様のご意見・ご要望をお寄せください。

区議会事務局調査係 TEL: 03-3463-1096 FAX: 03-5458-4939 メールアドレス: div-kugikai@shibuya.tokyo

しぶや区議会だよりは発行日を3日過ぎても届かない場合など、区議会だよりの配布に関するお問合せは、各戸配布コールセンターへ ☎ 0120-900-916 (月)~(土) 9:00~18:00 ※祝・休日、1月1~3日を除く